

第1学年〇組 国語科学習指導案

令和3年〇月〇日 〇曜日 第〇時

指導者 〇 〇 〇 〇

1 単 元 4 心の動き（星の花が降るころに）

2 単元の目標

- (1) 登場人物の心情とその変化を捉え、それについて自分の考えをもつことができる。
- (2) 作品の展開を確かめながら、場面ごとの状況やそのつながりを読み味わうことができる。
文脈の中で言葉の意味を捉え、表現の工夫を味わうことができる。
- (3) 作品のおもしろさを味わい、物語を楽しもうとする。

3 学習の計画 (5時間完了)

- 第1次 第1時 本文を通読し、これからの学習の見通しを立てる。
 第2時（本時） 場面の展開に沿って、「私」の心情の変化とその理由を整理する。
 第3時 行動や情景描写と「私」の心情の関係をまとめる。
 第2次 第4時～第5時 登場人物の気持ちを想像し、この作品の続きを考える。

4 本時の学習指導

- (1) 目 標
 - 描写や場面展開に興味をもち、四つの場面に分けようとする。
 - 本文の描写を手がかりに「私」の心情について考え、まとめることができる。
- (2) 準備・資料
 - 生徒……ペン（青色、赤色）
 - 教師……学習課題カード、ワークシート
- (3) 関 連
 - 小6 国語 登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について話し合おう「海の命」
(登場人物の関係を捉え、人物の生き方について話し合う)
 - 2年 国語 人間のきずな「盆土産」（登場人物の言動の意味を考える）
 - 3年 国語 状況の中で「故郷」（小説を批判的に読み、社会や人間について考える）

(4) 学習過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
つかむ	1 課題を整理し、学習の見通しを立てる。	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習」(p.114) と関連付けながら課題を整理し、学習の見通しを立てさせる。 ○ 「学習の窓」(p.114) を参照させ、場面や描写を結び付けて読むと、人物の気持ちや変化を整理しやすいことを確認させる。 ○ 学習課題カードを黒板に掲示する。
	2 本時の学習課題をつかむ。 (1) 本時の学習課題に関心をもつ。 (2) 本時の学習課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 行動や情景描写などから、「私」の心情を考えよう。 </div>		
追究する	3 時間や場所が分かる表現に着目して、四つの場面に分ける。 (1) 時間や場所が分かる表現に傍線を引きながら、範読を聞く。	15	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「私」のいる場所や時間を表す表現を確かめながら、場面展開を確認させる。 ○ 時間が分かる表現に赤色の傍線、場所が分かる表現に青色の傍線を引かせる。 ○ 机間指導をして、個別に支援が必要な生徒に助言をし、時間や場所についての表現を探させる。
	(2) 時間や場所を確認し、場面の展開をまとめる。 ・ 去年の秋、夏実と二人で木の真下		

追 究 す る ま と め る	に立ち ・ 昼休みに入った教室 ・ 帰りは図書委員の集まりがあった ……校庭に出ると ・ 学校からの帰り……銀木犀の公園 に立ち寄った	20	○ 長い文は「……」と書いて中略することを伝え、学習の効率化を図る。 ○ 四つの場面になることを確認する。 評 傍線の箇所を手がかりに、四つの場面に分けようとしている。（活動の観察）
	4 場面ごとに行動や情景描写などから、「私」の心情を捉える。 (1) 表現を抜き出し、そのときの「私」の心情を考え、ワークシートに書く。 ・ 一つ息を吸ってはくときこちなく足を踏み出した＝不安〔行動描写〕 ・ 私は自分の心臓がどこにあるかはっきりわかった＝緊張〔心情描写〕 ・ かたむいた陽が葉っぱの間からちらちらと差し＝希望〔情景描写〕 (2) ワークシートに書いたことを発表し合う。	47	○ 場面の展開に沿って、行動描写・心情描写・情景描写を探すように指示する。 ○ 「私」の心情を表すのにふさわしい言葉を、短い言葉でまとめるように指示する。 ○ 心情を表す言葉が思いつかない生徒については、肯定的か否定的なのかを考えさせる。 ○ 巧みな比喩表現に注目させる。 評 「私」の心情を、描写を基にして短い言葉で表現している。（ワークシート） ○ 新たな意見は、ワークシートに書き加えさせる。
	5 振り返りをし、次時の内容を聞く。 (1) 場面ごとの「私」の心情を確認する。 (2) 次時の内容について知る。	50	○ 行動描写・心情描写・情景描写に分けて発表させる。 ○ ワークシートを見ながら、本時の振り返りをする。 ○ 次時は、本時でまとめた「私」の心情を、展開に即して、グループでまとめることを伝える。

(5) 本時の評価規準

- 場面の展開に沿って、四つの場面に分けようとしている。（活動の観察）
- 抜き出した描写を基に「私」の心情を考え、「不安」、「緊張」などの短い言葉で表現している。（ワークシート）

5 備 考

(1) 学級の実態

- 心情を表す言葉が使われていないと、登場人物の気持ちを読み取ることができない生徒も多い。学習場面で読み取りが得意な生徒に頼りがちな姿が見られるため、一人一人がじっくりと読み、考える活動ができるように工夫する必要がある。

(2) 指導の力点

- 個人でじっくり課題に取り組む時間を確保し、考える過程を大切にすることで、自分の読みの深化へつなげることができると考えた。そこで、描写の種類をあらかじめ分けた学習ワークシートを利用し、思考を整理しながら活動ができるように工夫する。

6 指導と評価